『もっと！！本野通信』　№144

諫早市立本野小学校長　永　井　洋

体験学習７　～小体連～

台風一過。気持ちの良い秋晴れのもと、６年生が体を動かしスポーツに親しみました。市内 1200 名以上の６年生が、陸上競技や長縄８の字跳びに実際に取り組んだり、応援をしたりして交流しました。今年もお隣の御館山小学校から友情応援があり、少人数の本校にとっては、本当に勇気づけられました。

小体連は、今年で 22 回目ですが、これは市町村合併（平成 17 年）以降の回数です。少なくともわたしが ４ 年生の頃も開催されていました。当時は、４年生以上の小学生が参加する大会でした。45 年以上に渡り続けられている大会ということです。これまでの歴史の中で、場所を変えたり、やむを得ず中止にしたりしたことはあっても、途絶えることはありませんでした。このような歴史の一コマに、６年生も加わることができたのです。これからも、どのような形態になるかは別にして、続いてほしいなと心から思った１日でした。在校生の皆さん、大きな応援ありがとうございました！！

順番や記録も気になるところですが、<u>「多くの人と交わり、スポーツを楽しむことの素晴らしさを素晴らしいスタジアムで体感」</u>できたのではないかと思っています。







小体連入賞者

女子走り幅跳び（参加 25 名）

第１位　赤　坂　優　莉

男子走り幅跳び（参加 25 名）

第４位　池　田　愛　彪

女子 100m 走（各組３位まで表彰）

第２位　本　川　陽　向

※代表種目出場者には、全員に記録証が渡されます。

～校長室の窓から～



１０月も終わりに近づきました。どの学年でも体験学習が終わり、そのまとめの学習に入っています。

そのような中、４ 年生が環境学習のまとめを使って、岡山県津山市と島根県出雲市の学校と交流を始めました。交流といっても、実際に会って交流するのではありません。タブレットを使い、オンラインで交流します。今日（10 月 28 日）はその第１回目でした。遠く離れた県の小学生と、簡単に交流できる。本当に便利な世の中になりました。子どもたちは嬉しそうに画面に向かって話しかけていました。さあ、どんな学びが生まれるか！